

生活者ネットワークの3つのルール

- 1.議員は交代制
- 2.議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3.選挙はカンパとボランティアで。



防災、減災は「まちづくり」 ●
まつざき淑子の狛江市議会報告 ●

防災、減災は「まちづくり」

台風や集中豪雨の季節到来、どこまで対策はすすんだのか

2019年10月12日の東日本台風(19号)以降の対策

<被害と原因>

この台風は狛江市に甚大な浸水被害をもたらしました。猪方排水樋管流域で床上浸水110世帯、床下浸水194世帯、六郷排水樋管流域では床上浸水24世帯、床下浸水120世帯にのぼっています。(2020年9月狛江市報告)

狛江市はこの浸水被害の原因を、多摩川の水位が上昇したことにより、宅地に降った雨水を2箇所の雨水幹線から十分に放流できずに起こった内水氾濫と、多摩川から河川水が逆流したことによると分析しています。

<実施した対策>

大水や洪水の時、狛江市は多摩川の水位を国土省の石原水位観測所(調布市)から入手し対応しています。東日本台風を経験し、リアルタイムの情報により即時に対応することと市民への迅速な情報提供のため、狛江市はまず樋管内外へ水位計、流向計、監視カメラなど観測機器を設置しました。また、計画高水位(5.94m)を超過する水位上昇に人力でゲートの開閉対応ができなかったことへの対策として、電動化、遠隔操作を可能にするための工事が進められています。

内水(下水から溢れる雨水)を排水する可搬式ポンプも増強されましたが、東日本台風級には対応できません。

多摩川に堆積した土砂などの浚渫・掘削による河道の確保や流水を阻害する樹木の伐採などの治水対策は二ヶ領宿河原堰から小田急線高架下まで進められました。

<大混乱した情報提供と避難行動の見直し>

昨年狛江市は防災ガイドと、新規に内水ハザードマップを作成し、全戸配布しました。自宅待機が望ましい場合以外は避難情報の警戒レベル4は危険な場所から全員が必ず避難しなければならない「避難指示」となりました。多摩川洪水時の避難所を4か所から12か所に増設。浸水想定地域にある学校も含め市内全小中学校で上層階への垂直避難が可能になりました。

避難所混雑状況を提供するバカンマップの導入や災害情報の配信にコマラジも加わりました。ペット保護スペースの確保(洪水時3小を除く)、校舎内に福祉避難スペースを確保する等、避難所運営マニュアルも改定されました。車両避難を必要とする方のために民間施設など(市内:ユニディ、ニトリ 調布市内:武蔵野の森スポーツプラザ、味の素スタジアム、NTT中央研修センター)と協定を結び、駐車場(一部有料)や施設が緊急避難場所として拡充されました。

<市が提案する今後の浸水対策>

今年7月末に浸水被害に対する市の今後の取り組みに関して市民説明会が開催されました。台風19号と同規模の被害防止のために六郷排水樋管流域には多摩川に雨水を排水するための定置式ポンプと逆流防止のポンプゲートの設置、連絡管工事を、猪方排水樋管流域には逆流防止ゲートとポンプ施設の工事を2028年度完成を目的に行う提案がされました。(詳細については狛江市HP安心・安全の説明資料を参照して下さい)この説明会に参加した市民からは次のような感想が寄せられています。

浸水被害軽減の中長期対策を作ったことに対する感謝の言葉も聞かれました。が、実際に浸水被害を受けた方から短期対策がないという切実な声が上がりました。現在の排水ポンプの処理能力では到底足りず、今起きたらどうするんだという声です。いずれにしても同じような台風が今来たとしたら自助で乗り切るしかないのかもしれないという思いになりました。

駒井町 Sさん

2019年と同規模の降雨量を想定して諸対策をしているとのことですが、地球温暖化による風水害は毎年想像を超えています。提案された対策は長期に及ぶものもあります。これだけの対策をしたから絶対安心ということはないのでハザードマップ、避難方法、避難ルートを確認し、情報収集を駆使してそれぞれが自分で自分の命を守らなければならないと思いました。

元和泉 Nさん

減災にはソフト面やまちづくりへの配慮もとても重要

異常気象により降水量は年々記録を更新し、今夏も記録的な豪雨による越水で東北、北陸で氾濫や浸水など大規模な被害が発生しています。

狛江市でも都市化の進展と同時に、地表が構造物で覆われ雨水浸透機能が低下しています。雨水浸透・雨水貯留施設の設置と共に農地や樹林地などの緑地や公園など空地の確保、氾濫想定区域での建築の在り方、地球温暖化に対する施策などまちづくりの視点からも減災対策を進めていくことが重要です。

まさに今年度、狛江市では新たに防災まちづくりの将来像や取組方針(防災指針)を含めた都市計画マスタープランおよび立地適正化計画を策定予定です。行政による公助だけでも、1人ひとりの自助だけでも災害に対応することはできません。市は計画の策定、実施に当たって、市民参加、市民合意を広げる努力が必要です。協働して進めない限り、我が事としての防災意識も地域防災力も高めることはできません。

震災でライフラインが停止した時に、水の問題(生活水)は大きな課題です。阪神淡路大震災を契機に、防災井戸が市内全小中学校その他に設置されました。地下水を保全しながら井戸の普段からの活用が望まれます。▶



地下水利用の市役所給水設備についてヒヤリングする生活者ネット環境部会のメンバー



郵便はがき

料金受取人払郵便



201-8790

狛江市東和泉 1-1-25
松崎ビル 101

狛江・生活者ネットワーク
まつざき 淑子 行



住所 _____ 電話 _____

氏名 _____

年代 ~19-20 30 40 50 60 70 80代以上

生き生きレポート(無料)の定期郵送を

希望します

よしこ 市議会議員 まつざき淑子の議会報告



狛江市議会第2回定例会が2022年5月26日から6月17日まで開かれました

まつざき淑子の一般質問

1.どうなる？来年度から始まるプラスチックごみの分別回収

温室効果ガス排出の削減や海洋の漂流プラスチックごみによる生態系への影響に対応するために2021年6月公布、今年4月から施行されている「プラスチック資源循環促進法」では、市町村においてプラスチック使用製品廃棄物の分別回収が努力義務とされました。

2000年に完全施行された「容器包装リサイクル法」により、多くの自治体でプラスチック類ごみの分別回収が始まりましたが、稲城市、狛江市は焼却炉での熱回収が認められていたため分別収集を行わず、可燃ごみとして焼却する処理方法を選択し、現在に至っています。しかしプラスチックの主原料は石油由来のナフサで、石油を精製する際にも、プラスチックを生産、再利用する過程でもCO2を発生するので、脱プラスチックを着実に進めていく必要があります。

今年5月にゴミ半減推進委員会からの答申を受け、市は以下を提案しています。
プラスチックごみ分別収集案

- 1.開始は2023年度中
- 2.対象 ①汚れていないプラスチック製品～豆腐や弁当容器、お菓子の包装など(汚れているものは可燃ごみに)②プラスチックのみできているもの～ハンガーやポリバケツなど(金属などが入っているものは不燃ごみに)
- 3.収集は週一回
- 4.可燃、不燃ごみと同様に有料回収

プラスチックごみはプラスチック製品にリサイクルすることで地球資源を守ることが本筋です。が、日本では組成の規制がないため再商品化が難しく、コストも高いため、大半は高炉還元剤など燃料として1回のみ再利用が多く、脱炭素への道は遠い状況です。不要なプラスチック製品を作らない・使わない社会にしていけるために今後も調査、提案していきます。

2.働く環境の改善を～会計年度任用職員制度について

2020年度より地方公務員の非正規雇用職員に「会計年度任用職員」制度が導入されました。が、会計年度任用職員の方たちから疑問や改善要望の声が寄せられています。

会計年度任用職員は効率的な行政運営と人件費による財政負担軽減のために導入が進み、現在狛江市での雇用人数は正規職員とほぼ同数の500余人。有資格を求められる職種もありながら、日々の業務を会計年度任用職員に託し、正規職員は将来を見据えた業務改革・研究などの責務を課されているとの答弁。

会計年度任用職員は85%が女性ですが、継続的にしっかり働くことを求める声に応えるためには、子育てとの両立を考えやすいような休暇制度や、生計を支えるための働き方となるような給与体系・キャリアアップの可能性の検討が必要です。担当所管の部課長が現場に出向いて、仕事状況を把握する機会を増やすことや労働環境や賃金に対する声を聞き取る場を増やし、適宜対応する姿勢を求めました。

💰一般会計補正予算約10億円を可決

国庫支出金や新型コロナウイルス対応地方臨時交付金などを活用し、コロナ禍と物価高騰に対し、困窮世帯と子育て世帯の支援を打ち出す

- ・非課税世帯10万円、児童扶養手当世帯等子ども一人5万円支給
- ・所得制限なしで新生児から高校生までの子ども一人当たり2万円支給(10月頃)
- ・単身、一人親世帯等の大学生一人当たり5万円を給付
- ・学童待機児対策としてベビーシッター利用支援補助金
- ・学校給食食材費補助金
- ・プレミアム付き電子商品券関係費(5000円で30%のプレミアムがつきます)

その他、ウクライナ人道支援や認知症グループホーム(中和泉)建設補助などが盛り込まれました。

日野市のプラスチック資源化施設見学



狛江・生活者ネットワークは、皆様からのご意見をもとに調査し、狛江市への予算要望や提案に活かしています。

子育て・教育・介護・保健医療・環境・防災など、なんでも気になっていることをお寄せください。切手を貼らずに投函して下さい。



Information

◆親子で学ぼう！ お子さま向け性教育講座～までい母さんのおはなし会

- 講座日程 ①8月27日(土)14:00～15:30 場所 中央公民館 2F和室
②8月28日(日)10:00～11:30 場所 中央公民館 2F講座室
- 講師 村上まどかさん(性教育アドバイザー)、参加費 親子一組500円
対象者 年中(5歳くらい)～小3 定員 親子10組(先着順) ★
申し込み先 m.and.m.and.ryu@gmail.com (トリイ)
主催 生活クラブ運動グループ 狛江地域協議会

◆前回の議会レポートに掲載された気候変動スタンディングアクションの写真にある横断幕は狛江・生活者ネットワークが所有するものではなく、市民の方々が制作し所有するものです。